

平成16年3月30日

がん検診に関する検討会中間報告書について

2003(平成15)年12月に老健局内に設置されたがん検診に関する検討会は、専門家11名の委員で構成され、2004(平成16)年3月まで6回にわたって開催されました。

乳がん検診、子宮頸がん検診、子宮体がん検診についてヒアリング及び総合討論を行い、市町村が実施するがん検診のあり方について討議を重ねました。

2004(平成16)年3月18日の第6回がん検診に関する検討会において、座長あずかりとなりました報告書(案)について、中間報告としてとりまとめられましたのでお知らせします。

老人保健事業に基づく
乳がん検診及び子宮がん検診
の見直しについて

がん検診に関する検討会中間報告

平成 16 年 3 月

がん検診に関する検討会

I	はじめに	1
II	検討の視点	3
III	老人保健事業に基づくがん検診の現状と課題	5
	1 乳がん及び子宮がん対策における検診の位置づけ	5
	(1)乳がんに関する現状	5
	(2)子宮がんに関する現状	6
	2 これまでの老人保健事業に基づく乳がん検診及び子宮がん検診の取組と現状	8
	(1)乳がん	8
	(2)子宮がん	8
	3 乳がん検診及び子宮がん検診に係る課題	9
	(1)乳がん検診	9
	(2)子宮がん検診	10
IV	乳がん検診についての検討	12
V	子宮がん検診についての検討	14
	1 子宮頸部がん検診	14
	2 子宮体部がん検診	15
VI	提言	16
	1 検診の見直しについて	16
	(1)乳がん検診	16
	(2)子宮頸部がん検診	16
	(3)子宮体部がん検診	16
	2 検診の実施体制の整備について	17
	(1)乳がん検診	17
	(2)子宮がん検診	17
	3 普及啓発について	17
	(1)乳がん	17
	(2)子宮がん	18
VII	おわりに	19
	参考資料	23